

令和6年度神奈川県中小企業生産性向上促進事業費補助金

<採択事例>

CASE 10

生産性向上補助金で小型マシニングセンタ（ロボドリル）を導入、コストダウンしました！

株式会社ナベセイ

（業種：製造業）

神奈川県横浜市都筑区東山田町 1583

代表取締役：渡邊 敬太さん

【社長より一言】

1958 年から神奈川県川崎市中原区でプレス部品などにネジ穴を加工する仕事をしていました。現在、メインにしている切削加工は 2013 年に事業承継し、本社とは別に工場を借り、当時の保有設備は NC 旋盤 3 台、汎用旋盤 2 台でした。その後の事業拡大によりマシニングセンタを 2 台追加設備し、更に 5 軸のマシニングセンタを設備しました。顧客も徐々に増えて、仕事量が増え、2022 年横浜市都筑区に工場を購入、更なる設備投資を実施しました。現在の取引先は 250 社になります。



◆導入した設備

◇ファナック社製ロボドリル（ハイコラム仕様）



◆生産性向上のねらい

当社にある 5 軸のマシニングセンタは、常に稼働し続けており、新たな製品製作したくてもスケジュール的に余裕がなく、結果、3 軸のマシニングセンタをフル活用せざるを得ませんでした。

今回、4 軸のマシニングセンタを導入することで、一つの製品を作り上げるのに 3 軸のマシニングセンタだと 2 人がかりだった作業が 1 人で加工できるようになりました。

これにより、他の受注も受けることができるようになり、コストダウンと売上増加が可能になります。

～✍️ 神奈川県取材ノート～

旋盤加工の会社を 2013 年に承継したときは 1 人で始めたそうですが、その後切削加工をメインに工場を軌道にのせ、現在では従業員が 30 人にもなったそうです。横浜市内で工場を稼働させるには、狭い敷地の中で、かなり効率よく稼働していかないと生産性が向上しない等、厳しい状況ではありますが、ものづくりを楽しんでいる社長さんのお話に引き込まれました。

●設備導入前の状況

5軸のマシニングセンタが空いていないため、複数面の製品加工する場合、3軸のマシニングセンタを2人で3台フル稼働させ、加工の段取りや治具への固定を繰り返しながら断続的に作業していました。



○設備導入後の状況

設備導入により、3軸のマシニングセンタに新たに回転機能が付いた治具を付けることで4軸加工が可能となりました。3軸のマシニングセンタに治具だけを追加したかったのですが、回転軸を追加するには高さも必要であったことから新たに特注で発注しました。

この設備導入により、最低2人必要だった加工工程が、一人で稼働できるようになっただけでなく、プログラムによっては、無人稼働が実現でき、圧倒的な生産性向上が見込めるようになりました。



◆補助金を申請する前に悩んだ事、大変だったこと

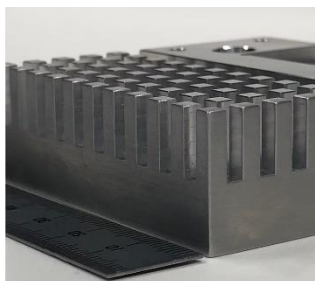
この補助金は、地元・川崎の工業会で最新の情報を得ることができるため知りました。補助金の申請にあたっては、毎回、自身（社長）で書き、数字で示した方が効果的な部分は、中小企業診断士さんに相談して仕上げるようにしています。導入設備や自社の状況、今後の展望は自分で書けますが、収支計画など、売上見込や付加価値額の算定に当たっては、専門家に相談しながら、通常業務と並行して準備してきました。

◆補助金を申請してよかった事

これまで、従業員がマシニングセンタに張り付いて作業せざるを得ない状況でしたが、4軸の回転治具があるおかげで、加工プログラムを作れば、最終工程まで従業員がいなくても製品ができるようになりました。また、こうした加工プログラムは CAD/CAM で作りますが、工場に居なくてもテレワークで仕事ができることから、従業員の働き方にも変化が出ており、積極的にテレワークも実施しています。

◆最後にひとこと！

ナベセイは世界で一番美しい金属製品（自称）を適正価格で提供できる会社です。



工場長ヘダイレクトコール

あなたのものづくりの悩み直接お聞かせください！
スゴ腕の工場長がベストな製作方法をご提案いたします
技能オリンピック選手も腕を振るってます！

いますぐお電話またはラインで！

📞 080-7580-0308

LINE 公式アカウント